

2020年6月18日

報道関係各位

GMOペパボ株式会社

「カラーミーショップ」の流通額が4月に引き続き好調 5月流通額が前年同月比1.7倍に

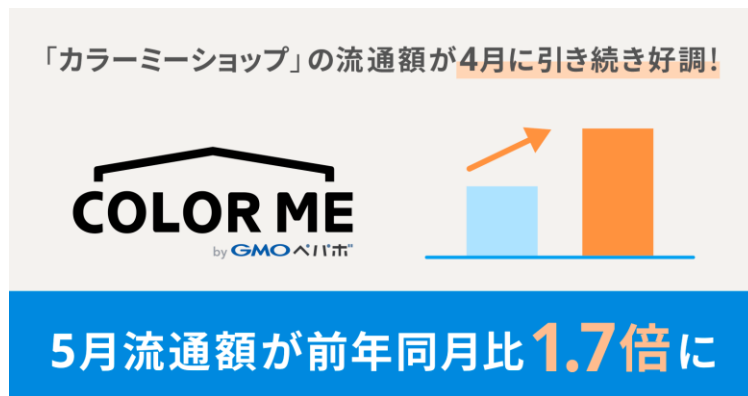
GMOインターネットグループのGMOペパボ株式会社（代表取締役社長：佐藤 健太郎 以下、GMOペパボ）が運営する国内最大級^(※1)のネットショップ作成サービス「カラーミーショップ byGMOペパボ（以下、カラーミーショップ）」（URL：<https://shop-pro.jp/>）は、オンラインイベント『ポストコロナに向けて今こそ取り組むべきデジタル化～実例から学ぶネットショップ活用のヒント～』を本日2020年6月18日（木）開催し、今後の「カラーミーショップ」の取り組みと、「カラーミーショップ」における最新の流通額の伸び率を発表しました。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大の影響による、消費者・事業者のEC（ネットショップ）利用の需要の高まりは5月も継続しており、「カラーミーショップ」の2020年5月の流通額も4月に続き、前年同月比1.7倍となりました。

なお、イベント開催前より「リアルタイムでの視聴ができないため、アーカイブを公開してほしい」というお問い合わせを多数いただいたため、後日アーカイブ動画の公開を予定しております。公開時にGMOペパボのSNSアカウント^(※2)にてアナウンスいたします。

(※1) 2020年5月末時点、自社調べ（国内有料ネットショップ構築サービスの公表店舗数を比較）。

(※2) Twitter：<https://twitter.com/pepabo>、Facebook：<https://www.facebook.com/PEPABO/>



【イベント内容のサマリ】

本日開催したイベント『ポストコロナに向けて今こそ取り組むべきデジタル化～実例から学ぶネットショップ活用のヒント～』では、GMOペパボ 代表取締役社長 佐藤 健太郎をはじめ、GMOペパボのEC支援事業の担当者などが登壇し、EC支援を行う事業者の立場から見えるEC市場と、ポストコロナに向け取り組むべきデジタル化について、そして今後の「カラーミーショップ」の取り組みについて発表しました。また、「カラーミーショップ」でネットショップを運営しているショップ（全3ショップ）の担当者による、コロナ禍における取り組みの紹介や、「LogiMoPro」、「Amazon Pay」による、物流や決済に関する事例の紹介などが行われました。

■ポストコロナに向けて今こそ取り組むべきデジタル化

（GMOペパボ株式会社 代表取締役社長 佐藤 健太郎）

＜コロナ禍における事業者の状況と、カラーミーショップ5月の速報値＞

日本国内における2020年4月後半の消費は、2020年1月後半と比べレジャー消費が大幅に落ち込んだほか、小売においても、-10.4%と低調で、百貨店を含む「各種商品小売業(-21.3%)」や「織物・衣服・身の回り品小売業(-33.8%)」は小売の中でも低くなっています。一方で、「EC(+24.2%)」は拡大しており、インターネット上での消費需要が高まっていることがわかります^(※3)。

また、「カラーミーショップ」においても、2020年4月・5月共に流通額は前年同月比約1.7倍となりました。

さらに、「カラーミーショップ」でも4月に新規申込を行い、開店したネットショップの初月流通額は、前年同月比35.1倍^(※4)と大幅に増加しており、開店後すぐに成果が出ている背景としては、一般生活者のEC利用の需要の高まりや、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた事業者を支援する潮流が新規申し込みネットショップの流通額を押し上げたことが一因であると考えられます。

(※3) JCB/ナウキャスト「JCB消費NOW」『コロナ禍における事業者の状況』(2020年5月15日)

(※4) 2020年5月20日発表 (URL: <https://pepabo.com/news/press/202005201300>)

<ネットショップの今後>

緊急事態宣言が発令され、実店舗がメインだった消費行動や販売形態にも大きな影響がありました。事業者は休業や営業時間の短縮を余儀なくされ、消費者の消費行動は、急激にデジタルへと移行しました。これまでの手法にこだわらず、不確実な手段であってもチャレンジすることの必要性、そしてそのタイミングの重要性が今回あらためて実証されたと考えています。

コロナ禍を経てこれから迎える、ポストコロナ時代においては、販売形態と消費行動は、デジタルと実店舗を組み合わせたニューノーマル(新常态)に進化し、より多様化していくと予想されます。

<「カラーミーショップ」の今後の取り組み>

「カラーミーショップ」では今夏、企業間の卸販売用のアプリの提供を予定しています。

■各ショップ事例

<旬八青果店 大崎広小路店副店長/広報 佐藤 麻美 氏> (URL: <https://shop.shunpachi.jp/>)

旬八青果店は、株式会社アグリゲートが運営する八百屋です。「新鮮おいしい適正価格」をコンセプトに旬の青果や肉、魚、全国のこだわりの加工品などを取り扱っています。

緊急事態宣言後、在宅勤務や学校休校の影響もあり、店舗はかなり混雑している状態でした。そのため、環境を整えたり、3密を避けたりするなど様々な改善をしながら営業を行っていました。

これまでもネットショップ販売は行っていましたが、コロナ禍で、ネットショップで買い物をしたい方が増えるだろうと考え、ネットショップ販売の強化や、大崎広小路店では、お隣の自転車屋さんと協力し、新たにお届けサービスも始めました。結果、これまで利用されていた方だけでなく、新規でネットショップを利用いただく方も増えました。

今後、ネットショップを利用する方は増えていくと考えているので、実店舗との使い分けをお客様に提案できればと思っています。

<乃し梅本舗 佐藤屋 八代目 佐藤 慎太郎 氏> (URL: <https://satoya-matsubei.shop-pro.jp/>)

乃し梅本舗 佐藤屋は創業約200年のお菓子屋です。普段は店舗での販売の他、百貨店や飲食店、市場などに料理の素材として乃し梅を販売しています。コロナ禍で、注文のキャンセルなどが相次ぎ、売上は前年同月対比80%以上減となり、一時期は売り先を失った在庫が3,000個にもなりました。この状況を打破すべくネットショップを始め、開始1時間程度で100件ほどの購入がありました。今回、オンライン上で気軽に購入できる場所を求めていたお客様が多くいたことに気づくことができました。「カラーミーショップ」を利用したのは、月商に対する負担額を考えた際に、単価の大きくない商品を販売する当社にはカラーミーショップが一番よいと考えたからです。

ネットショップの利点として、発送時期を事前に承諾いただいて購入いただくことができるため、シーズンによって業務が偏ってしまうことの解消にもつながるのではと考えています。それにより従業員のQoL向上や、業界のイメージアップにつながると考えています。

<公益社団法人鹿児島県特産品協会 事業部 事業部長 遠矢 喬志 氏>

(URL : <https://kagotokunet.shop-pro.jp/>)

鹿児島県特産品協会は、県内の特産品振興と販路拡大などの業務を行っています。コロナ禍で、県内外での物産展やイベントが中止になり、特産品の販路に影響が出たことで、県内事業者の在庫増加や売上減少が起きてしまいました。

そこで、県内業者の支援のため、感染リスクを冒さない形で購入できるネットショップのリニューアルを決めました。リニューアル前後を比べるとアクセス数は2~2.5倍ほど、販売も1.5~2倍ほどに増えています。

鹿児島県特産品協会がネットショップをはじめると、県内の事業者がネットショップをはじめるとなればと考えています。また、リアルと通販で相乗効果を起こせるようにしていくのが大事だと考えています。

■実例から学ぶネットショップ活用のヒント

(GMO ペパボ株式会社 EC 事業部部長 寺井 秀明)

「カラーミーショップ」は、豊富な拡張機能、電話やメールで丁寧なサポートが受けられるカスタマーサービスなど、多彩な機能とカスタマイズ性が特徴です。「カラーミーショップ アプリストア」(URL : <https://app.shop-pro.jp/>)では、自身のショップ運営における悩みや課題に合った、便利なシステム・機能を探し出し、簡単に利用することができます。

今回、ネットショップの新しい使い方として、「カラーミーショップ」の幅広い決済方法の選択肢やデジタルコンテンツの販売が可能であることを生かし、寄付の受付や楽譜データの販売、アパレルの型紙データの販売など、これまでの「物販」にとどまらないショップ事例を紹介しました。



左 : GMO ペパボ 代表取締役社長 佐藤 健太郎、右 : GMO ペパボ EC 事業部部長 寺井 秀明

【イベント概要】

イベント名	ポストコロナに向けて今こそ取り組むべきデジタル化 ～実例から学ぶネットショップ活用のヒント
開催日時	2020年6月18日(木) 14:00~16:00
登壇者	GMO ペパボ株式会社 代表取締役社長 佐藤 健太郎 GMO ペパボ株式会社 EC 事業部部長 寺井 秀明 アマゾンジャパン合同会社 Amazon Pay 事業本部 本部長 井野川 拓也 氏 株式会社清長 LogiMo 事業部 中川 学 氏
参加人数	延べ 2,163 人 (速報値)

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO ペパボ株式会社 広報担当 田辺
TEL : 03-5456-2614 E-mail : pr@pepabo.com

●GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 石井
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMO ペパボ株式会社】 (URL : <https://pepabo.com/>)

会 社 名	GMO ペパボ株式会社 (東証第二部 証券コード : 3633)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 佐藤 健太郎
事 業 内 容	■ホスティング事業 ■EC 支援事業 ■ハンドメイド事業
資 本 金	1 億 5,967 万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円